

## 1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、ゆうきは夏休みの自由研究で、木のざいりようをつかった小さいえをつくることにしました。

「むずかしそうだな」と思いながら、つくえの上でざいりようをならべましたが、どこから手をつけたらいいかわかりません。

まどの外からは、せみのこえが聞こえてきて、こころがすこしそわそわしました。

「うまくできるかな」と思い、のこぎりやボンドを目の前にして、しばらく立ちどまってしまいました。

でも、前に図工のじゅぎょうで作ったものを出して、「少しずつならでできるかも」と思いました。

ゆうきは、まず木をはかって、ていねいにきるころからはじめました。

作りはじめると、うまくいかないところもありました。

ずれてしまったところをなおしたり、もう一どほりなおしたりして、時間もかかりました。

でも、少しずつ形になっていくのを見ると、だんだんたのしくなってきました。

やっとできあがった小さいえを見て、ゆうきは、「あきらめないでよかった」と思いました。

はじめはふあんだった気もちはなくなり、「じぶんでつくれた」といううれしさがこころにのこりました。



(1) 文中にある「——」より、このときのゆうきのようすとしていちばん近いものをえらび番号をえらび○でかこみましょう。

- ① 落ちつかず、気がちらほらしているようす
- ② うれしくて走りだしそうなようす
- ③ しずかにしゅうちゅうしているようす
- ④ ねむくてぼんやりしているようす

(2) ゆうきは、なぜはじめ、手がとまり、どうすればいいかわからなかったのですか。いちばんただししい番号を○でかこみましょう。

- ① ざいりようがたりなかったから。
- ② つくりかたがむずかしすぎると思ったから。
- ③ どこから手をつけたらいいかわからなかったから。
- ④ じかんがなくなってしまったから。

(3) 工作ができあがったとき、ゆうきの気もちはどうかわりましたか。はじめの気もちとくらべて、文にそって書きましょう。



1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、ゆうきは夏休みの自由研究で、木のざいりようをつかった小さないえをつくることにしました。

「むずかしそうだな」と思いながら、つくえの上  
にざいりようをならべましたが、どこから手をつ  
けたらいいかわかりません。

まどの外からは、せみのこえが聞こえてきて、こ  
ころがすこしそわそわしました。

「うまくできるかな」と思い、のこぎりやボンドを  
目の前にして、しばらく立ちどまってしまいました。

でも、前に図工のじゅぎょうで作ったものと思い  
出して、「少しずつならでできるかも」と思いました。

ゆうきは、まず木をはかって、ていねいにきるとこ  
ろからはじめました。

作りはじめると、うまくいかないところもありまし  
た。

ずれてしまったところをなおしたり、もう一どはり  
なおしたりして、時間もかかりました。

でも、少しずつ形になっていくのを見ると、だん  
だんたのしくなってきました。

やっとできあがった小さないえを見て、ゆうきは、  
「あきらめないでよかった」と思いました。

はじめはふあんだった気もちはなくなり、「じぶんで  
つくれた」といううれしさがこころにのこりまし  
た。



(1) 文中にある——より、このときのゆうきのようすとしていちばん近いものをえらび番号をえらび○でかこみましょう。

- ① 落ちつかず、気がちらほらしているようす
- ② うれしくて走りだしそうなようす
- ③ しずかにしゅうちゅうしているようす
- ④ ねむくてぼんやりしているようす

(2) ゆうきは、なぜはじめ、手がとまり、どうすればいいかわからなかったのですか。いちばんただししい番号を○でかこみましょう。

- ① ざいりようがたりなかったから。
- ② つくりかたがむずかしすぎると思ったから。
- ③ **どこから手をつけたらいいかわからなかったから。**
- ④ じかんがなくなってしまったから。

(3) 工作ができあがったとき、ゆうきの気もちはどうかわりましたか。はじめの気もちとくらべて、文にそって書きましょう。

解答例) はじめは、むずかしそう  
でふあんな気もちだったが、少  
ずつ作りはじめて、できあがった  
ときには、うれしくなった。